

全部

新ジャンル「吸血鬼メイド」

1 : 以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします : 2009/11/13(金) 10:47:23.81
ID:aStsSIDj0

立つかな

2 : 以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします : 2009/11/13(金) 10:48:22.63
ID:622koj0/0

ちんちんがな

3 : 以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします : 2009/11/13(金) 10:49:25.39
ID:GT1+21LR0

クリトリスもな

4 : 以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします : 2009/11/13(金) 10:49:51.02
ID:jJtkYHdT0

あらやだ

6 : 以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします : 2009/11/13(金) 10:51:14.87
ID:cMm70rg90

>>2-4の反応が面白い

7 : 以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします : 2009/11/13(金) 10:53:07.96
ID:aStsSIDj0

「おはようございます」

「ああおはよう、そしてお休み」

「はい、朝食の支度は既にできてますので、日暮れまで休ませていただきます、では」

棺桶「ギィ、バツ」

8 : 以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします : 2009/11/13(金) 10:55:18.75
ID:GT1+21LR0

東方とかつてのにそんなのが居るんじゃないのか？

9 : 以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします : 2009/11/13(金) 10:58:36.78
ID:jJtkYHdT0

一発目でコレなら期待は出来そうもないな...

10 : 以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします : 2009/11/13(金) 11:01:48.52
ID:WWI tgDd10

まゝ続けたまへ

11 : 以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします : 2009/11/13(金) 11:03:17.57

ID:aStsSIDj0

「ふわあああ、そろそろお買い物に行こうかな」

時計を見ると7:32、この時期ならすっかり日も落ちている時間。
アナログ時計を使っていた頃は午前と午後を間違えて、日の下を歩こうとしたことが何度もあった。

「科学の進歩って素晴らしいです……」

>>8

あれは吸血鬼かどうかは明記されていないけど、建前では人間

12 : 以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします : 2009/11/13(金) 11:03:18.15

ID:dPyaYNbYP

男「正直毎晩血吸われると、朝貧血気味で辛い」

メ「そんな事言われましても私吸血鬼ですし」

男「あと、朝からレバー三昧も勘弁してほしい」

メ「薄い血なんか飲んでも物足りませんもん」

男「それと、夜中に掃除機かけるのも……ぐっすり寝れない」

メ「私、メイドですから」

男「なんでこんなメイド雇ってしまったんだ」

13 : 以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします : 2009/11/13(金) 11:06:42.26

ID:FseJfb7q0

最近人外やモンスター娘のスレ立たないよな

14 : 以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします : 2009/11/13(金) 11:08:13.16

ID:lZgBr2Gn0

>>8

レミリアと咲夜足して2で割ったようなもんじゃないか

15 : 以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします : 2009/11/13(金) 11:11:32.58

ID:lFRFMAV70

>>13

魔女「えーっと蜘蛛の足に蝦蟇油、人間の精子…」

<http://yutori7.2ch.net/test/read.cgi/news4vip/1257751990/>

16 : 以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします : 2009/11/13(金) 11:15:57.46

ID:cnGwE5h90

デジタルなら19:32って書け

17 : 以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします : 2009/11/13(金) 11:31:39.57

ID:GPyHYC6e0

>>15

そのスレ序盤で男が鍋にぶち込まれた所で切ったわ

18 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 11:32:11.41
ID:BspJwxnf0
ポムニットさんじゃないか！

20 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 11:59:43.57
ID:dPyaYNbYP
メ「それでご主人様今日のご予定は」
男「.....予定って今何時だと思っていやがる」
メ「えっと8時半ですが」
男「午後のな.....とっくに今日の予定は終わったよ」
メ「なんと！ 私が起きてからまだ1時間も経っていないのに、素晴らしいです」
男「.....ああもう！！ 分かってて言ってるだろ！！」
メ「ええもちろん」

22 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 12:11:17.25
ID:aat90ACX0
>>18
ポムニットさん可愛いよな

23 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 12:14:42.71
ID:x7Q4LspW0
一周目はポムニットさんが敵になって涙目だった

24 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 12:17:03.65
ID:dPyaYNbYP
メ「とりあえず今日の分吸わせてください」
男「それだけ聞くとちょっと卑猥だな」
加ッ
男「アッ」
ズズー
メ「ふはっ、ごちそうさまです」
男「ハハハ、きつつ」
メ「疲労が溜まってるからか味がイマイチです」
男「誰のせいだと思ってるんだ」
メ「仕方ありませんね、当分の食事は精力増強メニューでいきましょう」

男「既に酷い食事メニューなのに……」

メ「ご主人様の為です」

男「お前の為だろうが」

25 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 12:27:36.13

ID:dPyaYNbYP

メ「ご主人様」

男「ん、なんだ？」

メ「お茶を入れて参りました」

男「お！ 気が利くねえ」

メ「メイド...ですから」 トホトホ

男「何故一拍置いたかはさておき、随分良い香りだな」

メ「特製ブレンドです」

男「ほ～ん...ズズ...ぶはっ！！ まっず！！ なにこれまっず！！」

メ「あれ？ 美味しくなかったですか？」

男「げほげほ、何、入れやがった」

メ「アレです」 ビシッ

男「混ぜるようなもんじゃねだろ、あれらのドリンクは.....香りがいいのが納得いかねえ！！」

27 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 12:36:46.90

ID:dPyaYNbYP

男「吸血鬼って空飛べるのか」

メ「私は飛べる仕様ですよ」

男「仕様って.....飛べない奴もいるのか？」

メ「さあ？ 会ったことはないのよ」

男「ふ～ん、飛べるのか、買出しとか便利そうだな」

メ「活動時間的にお店が閉まっているので、どうでしょう」

男「コンビニとかあるじゃん」

メ「それは毎日コンビニ弁当で良いということでしょうか？
それでしたら、行ってまいります」

男「.....買出しは俺がやるから家の中の事よろしく」

メ「分かりました」

28 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 12:46:29.44
ID:dPyaYNbYP

男「飛ぶっても、その小さな羽で飛べるのか？」

メ「大きさはさほど重要じゃないのですよ」 パ°外°タ

男「ふ～ん、これでねえ」 キ°」

メ「ひゃん」

男「おお、どうした」

メ「私の羽、結構敏感なんですよ」

男「悪い悪い、そうだよな、羽って随分脆そうだし」

メ「いえ、そうじゃなくて性感帯なんですよ」

男「……そんなエロ設定いるか？」

メ「設定も何もこうなんですから、やん」

男「なるほどね～」 サ°サ°

メ「ひゃめて～」 ビ°ク°ビ°ク°

29 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 12:49:48.47
ID:E/o1F+Cx0

まさに俺のためにあるスレだ。

30 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 13:05:55.74
ID:dPyaYNbYP

男「メイドと言えはご奉仕」

メ「毎晩抜いてあげてるのにまだ要求するつもりですか」

男「ご奉仕＝抜くとかどんだけエロスだよ」

メ「他に思いつきませんが」

男「……かく言う私もね」

メ「では、早速」 ジ°」

男「ちょちょちょい待ち、今日の分はもうやっただろうが」

メ「主人公たるもの絶倫でなければ」

男「そうバンバン血を吸われる主人公はいねえよ、つか絶倫関係ねえよ」

メ「ご主人様がそうなればよろしいかと」 スッ

男「よろしいかとして、うわ！ ちょ勘弁」

加° スズー

メ「ふぁ、今日の血は美味しくてたまりません」

32 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 13:20:15.40

ID:dPyaYNbYP

男「ああ、だる」

メ「ふんふん ふん 」 ㊦㊦㊦

男（つか、血なら俺のじゃなくてもOKだろ？ 血って手に入らないものかな） ㊦㊦

メ「何をしていますのですか？」

男「ん？ お前用の血が手に入らないか検索してんの」

メ「ご主人様がいるではありませんか」

男「いや、そろそろキツイ」

メ「私、ご主人様以外の血なんか飲みたくないです」

男「いやしかし、このままだと俺が死んでしまう可能性が」

メ「死んでしまったら、私も死にます！」

男「……えっと、頑張ります」（ああなんか反則だろ）

メ「では、いただきま〜す」

男「ちえい！！」 ビシ

メ「ひゃん！ ……ケチ」

33 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 13:29:57.48

ID:dPyaYNbYP

男「ふう」

メ「よかったよ///」

男「なんだその台詞」

メ「くるでしょ？」

男「そんな元気ねえよ」

メ「インポですか？」

男「ちがわい！ 血が足りないんだよ」

メ「その台詞吸血鬼っぽいですね」

男「ああ、お前の血を吸ってやる！」

メ「きゃー」

加ッ

男（ふぉっ、やわらか！！）ハミミ

メ「やん、くすぐったいです」

34 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 14:21:35.06

ID:dPyaYNbYP

メ「吸血鬼メイドカフェ」

男「へ？」

メ「吸血鬼メイドカフェですよ、ご主人様」

男「だからなんだよ」

メ「がっぼり儲けちゃいましょうよ」

男「夜しか出来ないだろ？」

メ「でも客は来ると思うんですよ」

男「どう考えてもエロ方向だと思われるぞ」

メ「そうですかね？」

男「しかも吸血鬼はお前だけだろ」

メ「別に血を吸うわけではないから普通の人でも可、だと思っんですよ」

男「それは台無しだろ」

メ「……そんなに血を吸われたいんですか、ご主人様？
でしたら、私が……」

男「しまった、罠か！！」

加 スズチー

36 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 14:35:54.37

ID:FAhTPq590

素直ヒートとかはまさに新ジャンルだったんだがな

37 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 15:02:58.50

ID:dPyaYNbYP

男「この纏わりつく感覚がたまらない」

ガッガリ

男「いい、すごくいいよ」

ガッガリ

男「ああああ」

.....

メ「霧プレイ如何でしたか」

男「楽しいのはいいんだけど、ビチョビチョになるな」

メ「霧ですから」

38 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 15:44:45.84

ID:dPyaYNbYP

男「さて、お昼です、メイドの寝室です。ベッドの上に棺桶.....何がしたいんだ」

男「寝顔を見に来たのに棺桶で見えない」

ギギギ

男「特に考えず、開けてみた。オービューティフル！」

メ「.....」スー

男「やる事はひとつ、ん~~~~」

メ「あら？ ご主人様」パチ

男「のっほ」

メ「覗きとは関心しませんね」

男「いや、ちょっとした出来心で」

メ「問答無用です、あーむ」加

男「ひう」

メ「.....」スー

男「あれ？ 寝ちゃった？怖いので元に戻しておこう」

ギギギ

39 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 15:52:37.10

ID:dPyaYNbYP

友「男、なんか最近やつれてるけど大丈夫か？」

男「ああ、ちょっと吸血鬼をメイドとして雇ったらこの有様だよ」

女「やだなに、卑猥」

メ「へっくち」

40 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 16:05:58.43

ID:dPyaYNbYP

メ「ご主人様、ご主人様」

男「あ？ なんだこんな時間に」

メ「いえ、今日の分を頂いてなかったの」

男「ええ、いまから？分かった、俺は寝るから勝手に吸って」

メ「あ、はい」

男「.....」 Zzzz

メ「いただきま〜す」ヒ

メ「む、この体勢すごく吸い辛い、よいしょよいしょ」 Eゾ Eゾ

メ「お、この体勢ベストです」

加° スズー

男（押し掛かる重さに目が覚めたらなんだこの状況、
抱き付かれる格好だから、お胸さまの感触が.....
ああ、でも意識が朦朧として）

メ「ぶはぁ〜、なんか途中勢いが増したけどなんだったのかな？
ごちそうさまでした」

41 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 16:35:37.75
ID:xIYcahYf0

おっと 久々のストライクですぞ

42 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 17:08:44.64
ID:dPyaYNbYP

男「あっペンが」 ココ

男「ああああ、隙間に入っちゃった」

メ「私にお任せ下さい」

男「いや、どけるの大変だし俺がやるよ」

メ「いえいえお手を煩わせるまでもありません」 ホフ

男「なるほど霧になって」

スズ コン ココ

男「おお、ペンが」

メ「けほけほ、どうですか、すごいもんでしょう？」

男「ありがとう、ってお前ホコリまみれだぞ、顔もドロドロだし」 パッ パッ

メ「すみません」 バザバサ

男「うおっぷ.....お風呂、入ろうか」

メ「あ、はい」

43 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 17:13:43.70

ID:dPyaYNbYP

男「なぜ一緒に入る？」

メ「メイドですから」

男「その知識は絶対おかしい」

メ「いやですか？」

男「いや、嫌じゃないけども」

メ「ならいいじゃないですか、お背中お流ししますよ」

男「ああ、ありがとう」

ゴシゴシ

男「うお！」

メ「どうしました？ 強かったですか？」

男「お前、鏡に映ってないぞ！ まさか幽霊だったのか？」

メ「ああ、私吸血鬼ですから」

男「へえ～吸血鬼って鏡に映らないんだ」

メ「常識ですよ」

男「ふ～ん」（くそっ！！ 鏡越しにガン見してやろうと思ったのに、畜生！！）

44 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 17:19:11.25

ID:dPyaYNbYP

メ「はは～ん」ゴシゴシ

男ビクッ

メ「さては私の体を鏡越しで見てやろうと思ってましたね」

男「ツ ツナコトけバ」

メ「いいんですよ、ご主人様になら.....」

男「え？」

パサ

メ「ほら、一糸纏わぬ姿をご覧下さい」

男 コク 「で、では、失礼して」

外

男 「え！？ 狼！？」

メ 「ふいふい、私狼にもなれるんです。
それにしても私のご主人様は随分エッチな方ですね」

男 「う、うるせえ!!!」

45 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 17:30:15.24
ID:dPyaYNbYP

男 「ふう～良い湯だった」

メ 「まさか狼状態で全身くまなく洗われるなんて……穢された気分です」

男 「ふはは、手触り抜群で色々想像してたら止まらなくなっただね」

メ 「では、私は仕事に戻ります」

男 「ん？ 血は吸わなくていいのか」

メ 「ご主人様がお眠りになった後に頂こうと思います」

男 「そうか、分かった。でも、どうして？」

メ 「ストップが掛からないのでいつもより多く飲めて最高なんです」 ウツリ

男 「だからか！ あの日の朝がすっげーしんどかったのは」

メ 「私はあのあと絶好調でした」

男 「……まあいいが、ちょっとは抑えてくれよ」

メ 「自信ないけど、頑張ります！」

46 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 17:57:09.04
ID:vfIqWXvx0

レミリアと咲夜さん？

47 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 18:02:52.42
ID:0YWMaveX0

>>46

ちょっと黙って、お願い

49 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 18:18:05.46
ID:hFKCVAjQ0

レミリアとやらも咲夜とやらも知らない俺は勝ち組

50 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 18:44:03.07
ID:dPyaYNbYP

メ「はい、ご主人様あ～ん」

男「あ～ん。……これはちょっとやりすぎじゃないか？」

メ「メイドってこんなお仕事ですよ」

男「何か違う、つかレバーばかりは、きついんだが」

メ「血には鉄分ですよ、ご主人様。はい、あ～ん」

男「あ～ん。話を聞いて、お願いだから」

メ「ひじきも鉄分豊富でいいらしいですよ、あ～ん」

男「あ～ん」

メ「おいしい血液にな～れ」

男（食事が偏るのはまずくないんだろうか）Eg`Eg`

51 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 18:53:08.27

ID:dPyaYNbYP

メ「ああ、ご主人様の血を限界ギリギリまで吸いたい」

男「怖いこと言うな！」

メ「大丈夫ですよ、仮に死んじゃっても吸血鬼になるだけですし」

男「嫌過ぎるわ！」

メ「まあ安心してください」

男「どう安心しろと」

メ「主人公補正はすげーらしいです」

男「それに安心しろって無茶苦茶いうな」

メ「しかも、吸血鬼になっちゃったら私が責任持って殺します！メイドとして」

男「それメイドの役目じゃないだろ」

メ「吸わせて吸わせて」

男「や、やめー」

加`チー

53 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 19:26:25.58

ID:dPyaYNbYP

メ「黙ってましたけど、実は毎晩血液を摂取する必要はないのです」

男「な、なんだって!？」

メ「だって美味しいんですもの」

男「.....美味しいなら仕方ないな」

メ「ですよ」

男「ちょっと減らしたり」

メ「聞けません」

男「頼む聞いてくれ」

メ「ご主人様のお願いでも無理なものは無理なのです」

54 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 19:39:41.04

ID:dPyaYNbYP

メ「空を飛ばば、こんな所もあらさっさ〜」

男「絶景かな！」

メ「あ、ご主人様いらしたのですか」

男「邪魔しないから続けて続けて」

メ「あ、はい。.....何が絶景なんですか？」

男「ん〜？ ロングでも下から覗けば、バッチリだなって」

メ「ロングでも.....あ！！ ご主人様のエッチスケッチワンタッチ」

男「はっはっは、無防備なそんな所もたまらない」

メ「今夜は、覚えておいて下さい」

男「ひいいい」

55 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 19:50:27.28

ID:dPyaYNbYP

男「今夜って、もうすぐで明日になるが」

メ「ち、血が足りなくて頭が回ってないんです。
なんですか、お望みなら今から吸い尽くしてもいいんですよ」

男「なんか、ごめん」

メ「ていうか、もう我慢出来ない」

男「え、ちょ、数時間前に吸ったばかり」

メ「ええい、問答無用」

男「わあー！」

加°ズズー

男「ああ、おじいちゃんが手を振っている」

56 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 20:00:27.73
ID:dPyaYNbYP

男「生命の危機で強くなるって主人公的ではないかな。
俺の血も強化されてたり」

メ「ご主人様が主人公なのですか？」

男「え？ 違うの？」

メ「どうなのでしょう、ヤラレ役って感じですが」

男「お前にヤラレっぱなしってのは同意だ」

メ「あ、でも強化されてると思います」

男「まじかよ」

メ「美味しくなってますもん」

男「餌としての強化かよ！」

59 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 22:18:02.02
ID:dPyaYNbYP

男「ああ～気持ちいい」

メ「随分凝ってますねえ～」 グリグリ

男「おうふ」

メ「ココですね」 グリグリ

男「そこそこそこ」

男「ぐー、ぐー」 ｽﾞｽﾞ

メ「ご主人様？ ありゃ寝ちゃった、疲れてたのかな……
それでは、ご褒美を、あ～む」

加°

男「ううん」

ｽﾞｽﾞ

男「余計疲れるわ～」 ｽﾞｽﾞ

メ「ふは、寝言で突っ込まれても吸っちゃいますよ～」

ちゅー

61 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 22:52:31.25

ID:dPyaYNbYP

男「吸血鬼って魔法使えるんだ」

メ「唐突ですね」

男「いやwikiに書いてあるから」

メ「そうですね、使えるのは使えますが今はちょっと無理かもしれません」

男「ええ～、なんでもいいから見せてよ」

メ「……他の吸血鬼がどうかは知らないのですが私の場合血を大量に消費するので」

男「ああ、じゃあいいかな」

メ「ご主人様がどうしてもって言うなら」ズイ

男「いやいや、やっぱいいよ」

メ「仕方ないですよ」ズズイ

男「おい、聞けよ！ つか、血が必要って嘘だろ」

メ「うふふふ」ググ

男「くっ、なんてパワー」

メ「いただきまーす」カ° スズー

男「あぁん」ヒ° 死° ン

64 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 23:14:59.85

ID:dPyaYNbYP

メ「……臭いです」

男「いや友に誘われてね」

メ「ご主人様がニンニク臭い！」

男「やつれてきたのを、心配されてさ」

メ「そうですか」

男「どうする？」

メ「今日は我慢します」

男「そうか」（これからやばい時はニンニク食べよう）

メ「ニンニク食べるのはほどほどにして頂けるとありがたいです」

男「うん、気をつけるよ」

メ「では仕事して参ります」 ショボーン

男（あんな顔見せられちゃうと参るなあ）

65 : 以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします : 2009/11/13(金) 23:37:12.68

ID:dPyaYNbYP

メ「ご主人様、ご主人様、ご主人様」

男「おう、慌ててどうした」

メ「猫を捕獲しました」

猫「にゃー」

男「元いた所に返してきなさい」

メ「いえ、拾ってきたのではなくて、家に侵入していたので捕まえたのですが」

男「じゃあ、外に」

メ「魔女の使い魔かもしれません、なんとなく魔力を感じます」

男「はあ？」

メ「これは新展開ですよ～。猫、名を名乗れ」

猫「……」

男（うそだろ、変なのは吸血鬼だけで手一杯だぞ）ゴク

猫「……にゃあ」ゲイ

男「よし、外に出してきなさい」

メ「残念です」

66 : 以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします : 2009/11/13(金) 23:54:19.85

ID:dPyaYNbYP

男「うう～冷えてきたなあ」

メ「暖めます」

男「ほ？」

ピト

男「おっほお、なんか色々最高です」

メ「私もあったか、ご主人様もあったかで一石二鳥です、それに」

男「それに？ ……はっ、や、やめ」

加°

男「くう、それが目的だったか」

メ「ふあふあふいふえふいに、いつふえふいふあんふおうふえふ」

男「ふああ、しゃべるなあ～、何言ってるのかもよくわからないし」

チー

男「ノーーーーッ！！」

67 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/13(金) 23:58:32.96

ID:dPyaYNbYP

すでにネタは尽きたしIDも変わるから僕はトンズラしようかと思ひます
読んでくださった方ありがと

68 : [以下、名無しにかわりましてVIPがお送りします](#) : 2009/11/14(土) 00:06:43.00

ID:BLAf7FUU0

>>67

そんなあ乙